

Stage6

Rubbish!

ゴミ！

作・クロエ・ローデス

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見ましょう。この本にどんなことが書かれているかヒントがみつかります。
- ・わたしたちがどれほどいろいろなものを捨てているかについて話しましょう。
- ・ページをパラパラとめくって写真や絵を見ましょう。ごみについてどんなことを知りたいか、お子さんにたずねてください。

<読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにうながしてあげてもいいでしょう：

- ・ことばを声にだしていってごらん。
- ・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。
- ・写真を見るとわかるよ。

<ひっかかることば>

ここにあげるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

their 彼らの

again また

waste 無駄

recycle リサイクル

throw 投げる

weight 重さ

plastic プラスチックの

horrible おそろしい

[p. 1]

ゴミ！

目次

大量のゴミ	p.2
わたしたちは？	p.4
ゴミはどこへ行くの？	p.6
すごい悪臭！	p.8
リサイクルするか腐らせるか？	p.10
どうしてゴミが問題なの？	p.12
もったいない	p.14
インデックス	p.16

作・クロエ・ローデス

[p. 2]

大量のゴミ

ゴミは私たちが捨てたものです。

食べものから古い空き缶まで、ゴミ箱に入れたものすべてがゴミです。

[p. 3]

ここにあるゴミを見てください。わたしたちはたくさんのものを捨てます。なんてもったいないことでしょう！

[p. 4]

わたしたちは？

毎年、人ひとりあたり、じぶんの体重の7倍の重さのゴミを捨てます。

[p. 5]

あなたが捨てているのは、ここにあるゴミの種類の中のどれでしょう？

<紙やダンボール>

<ガラスビン>

<食べもの>

[p. 6]

●ゴミはどこに行くの？

ゴミのなかにはリサイクルされるものもあります。

リサイクルとは、あるものをもういちど使ったり、新しいものに作りかえたりすることです。

●ガラスはどのようにリサイクルされるのか

1. ガラスのビンや器は、リサイクル用のゴミ箱に入れられます。
2. 同じ色のビンが集められます。

[p. 7]

3. ガラスが洗淨されます。
4. つぎにガラスが溶かされます。
5. 溶かされたガラスは新しいビンの形にしあげられます。

[p. 8]

すごい悪臭！

ゴミのなかにはリサイクルできないものもあります。

そういうものは地面に掘った大きな穴にうめられます。

穴によってはサッカー場の400倍の大きさのものがあります。

これらのゴミの穴は、おそろしい臭いがします！

[p. 9]

ゴミはあとかたもなくなるまで、ゆっくりと腐っていきます。腐ってなくなるまでにとても長い時間がかかるゴミもあります。

ゴミ	腐るまでにかかる時間
食べもの	約6カ月
空き缶	約 100 年
ペットボトル	約 500 年

[p. 10]

リサイクルするか腐らせるか？

もし今日、飲みものの缶を一般ゴミの箱に捨てたとしたら、それが腐ってなくなるのに約 100 年かかります。もしその缶をリサイクル用のゴミ箱に入れれば、その缶は他のものに作りかえられることが可能になるのです。

缶はリサイクル作業場で分類されます。

[p. 11]

あなたの学校や家では、どのくらいの量のゴミをリサイクルしていますか？

次になにか捨てるようとするときは、ちょっと立ち止まって考えてみましょう！

ゴミ箱に捨てる？

リサイクルする？

[p. 12]

どうしてゴミが問題になるの？

ゴミを地面にうめると土や川を汚します。

いいかえれば、ゴミが腐るとき土や川を汚すということです。

[p. 13]

ゴミが腐ると空気を汚すガスも発生します。

うまれるゴミすべてをうめる場所は残り少なくなっています。

[p. 14]

もったいない

私たちが実行したら貢献できること

- ・リサイクル(再資源化)
- ・リユース(再利用)
- ・リデュース(減らす)

ゴミによっては、リサイクル用ゴミ箱を使ってリサイクル(再資源化)ができます。

紙は、両面を使うことでリユース(再利用)ができます。

[p. 15]

無駄にする食べものをリデュース(減らすこと)ができます。

「それ捨てるなよ。食べなきゃダメだぞ」

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・ゴミについてどんなことがわかった？
- ・リサイクルについてどんなことがわかった？
- ・この本は気に入った？ それはどうして？

この本をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

この本のことをくりかえし話題にしましょう。どのくらいのゴミをリサイクルしているか話しましょう。